

国有林野と現行計画の概要 (安芸森林計画区)

国有林野の森林計画に関する地区懇談会

令和8年9月17日
四国森林管理局



国民の森林
国有林



1	四国の森林・林業	1) 四国の森林の概要	3
		2) 人工林の齢級別・樹種別面積	4
		3) 素材生産量の推移	6
		4) 大型製材工場、木質バイオマス発電所等の位置	7
2	森林計画制度	1) 我が国の森林計画制度	9
		2) 四国の森林計画区	10
		3) 森林計画策定のプロセス	11
3	現行の国有林野の 森林計画の概要	1) 安芸森林計画区の特徴	13
		2) 機能類型区分	15
		3) 主要事業の実施状況	18
		4) 特に効率的な施業を推進する森林	19
		5) 治山対策の強化	22
		6) 木材の安定供給への取組	23
		7) 森林・林業技術者等の育成支援	24
		8) レクリエーションの森	25
		9) 保護林	26
		10) 緑の回廊	27
		11) 民有林との連携	28
		12) 国有林の維持及び保全	29
		13) 生物多様性保全に配慮した森林施業	30



1	四国の森林・林業	1) 四国の森林の概要	3
		2) 人工林の齢級別・樹種別面積	4
		3) 素材生産量の推移	6
		4) 大型製材工場、木質バイオマス発電所等の位置	7
2	森林計画制度	1) 我が国の森林計画制度	9
		2) 四国の森林計画区	10
		3) 森林計画策定のプロセス	11
3	現行の国有林野の 森林計画の概要	1) 安芸森林計画区の特徴	13
		2) 機能類型区分	15
		3) 主要事業の実施状況	18
		4) 特に効率的な施業を推進する森林	19
		5) 治山対策の強化	22
		6) 木材の安定供給への取組	23
		7) 森林・林業技術者等の育成支援	24
		8) レクリエーションの森	25
		9) 保護林	26
		10) 緑の回廊	27
		11) 民有林との連携	28
		12) 国有林の維持及び保全	29
		13) 生物多様性保全に配慮した森林施業	30

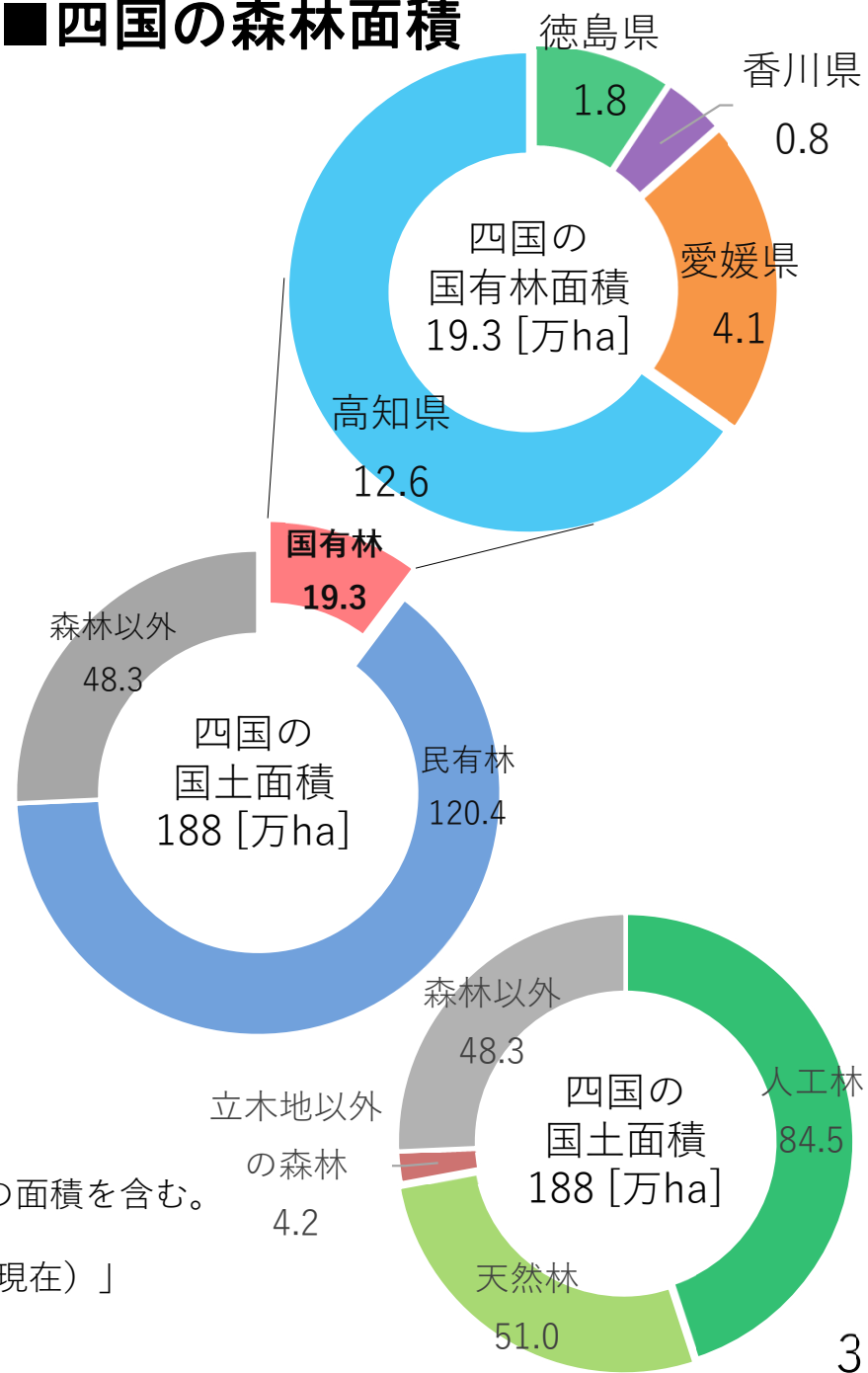
1.1) 四国の森林の概要



■四国の森林の概要

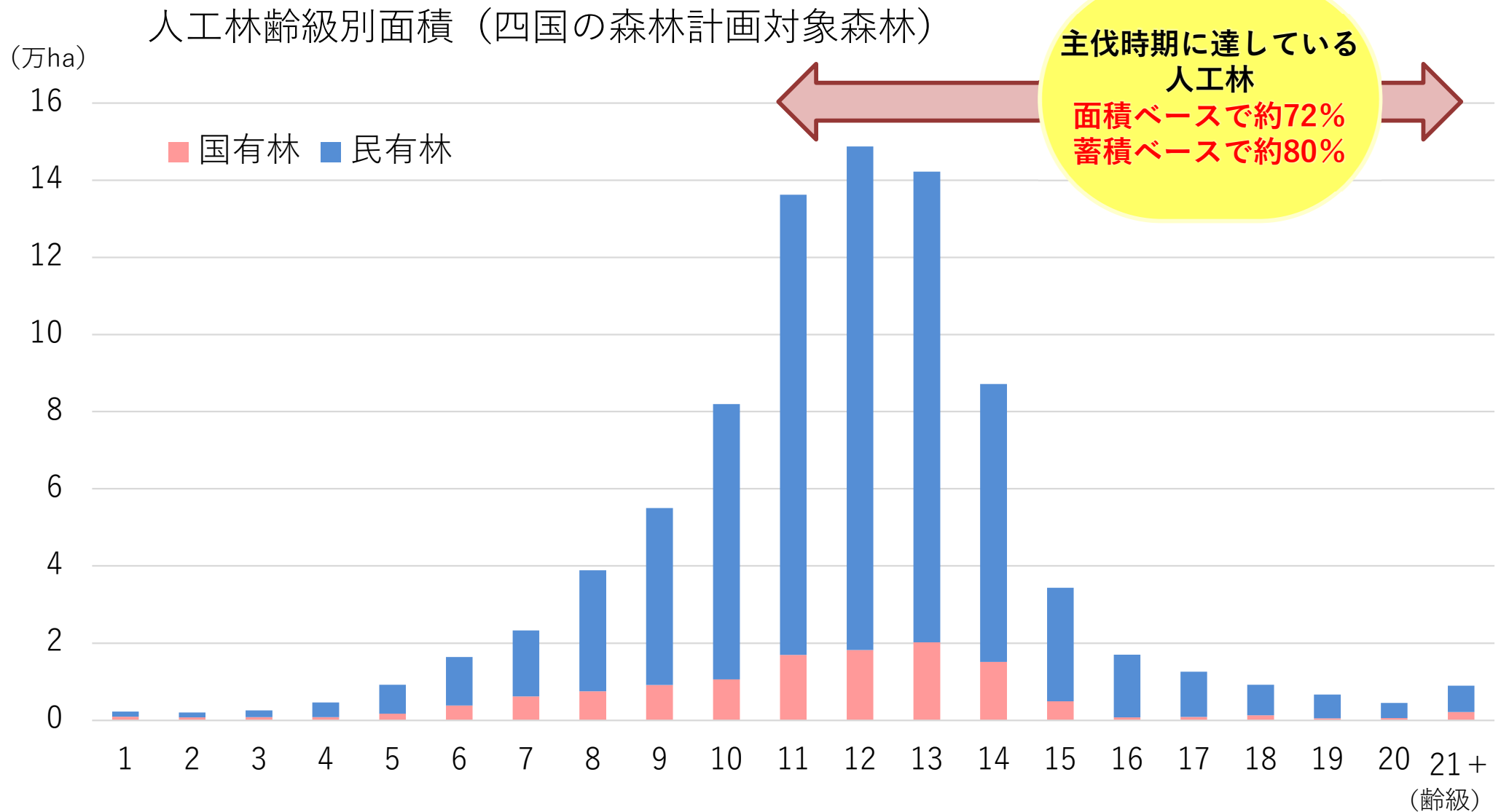
都道府県	森林			国有林		人工林	
	面積 (万ha)	森林率	森林蓄積 (万m3)	面積 (万ha)	国有林率	面積 (万ha)	人工林率
徳島県	31.5	76% 全国9位	10,396	1.8	6%	19.0	60% 全国9位
香川県	8.8	47% 全国37位	713	0.8	9%	2.3	27% 全国43位
愛媛県	40.1	71% 全国19位	12,422	4.1	10%	24.4	61% 全国6位
高知県	59.4	84% 全国1位	20,777	12.6	21%	38.7	65% 全国2位
四国計	139.8	74%	44,309	19.3	14%	84.5	60%
全 国	2,502.5	67%	556,020	765.7	31%	1,009.3	40%

■四国の森林面積



注1：計の不一致は四捨五入による。
注2：国有林面積には官行造林地、計画対象外国有林、他省庁所管国有林の面積を含む。
資料：林野庁 統計情報「森林資源の現況（令和4年3月31日現在）」、
林野庁 統計情報「都道府県別森林率・人工林率（令和4年3月31日現在）」

1.2) 人工林の齢級別・樹種別面積



注1：齢級とは、林齢を5年の幅でくくった単位。

人工林は苗木を植栽した年を1年生とし、1～5年生を「1齢級」と数える。

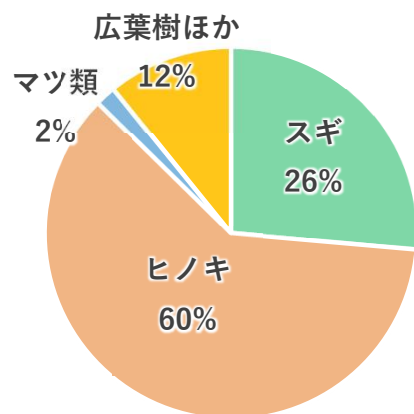
2：国有林には官行造林地を含む。

資料：林野庁 統計情報「森林資源の現況（令和4年3月31日現在）」

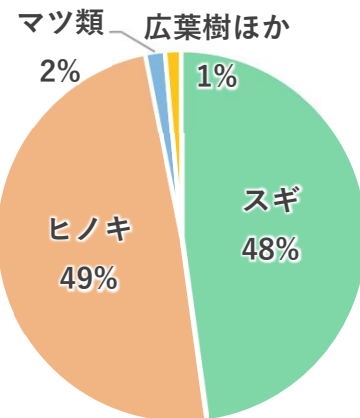
1.2) 人工林の齢級別・樹種別面積



愛媛県 人工林樹種別割合

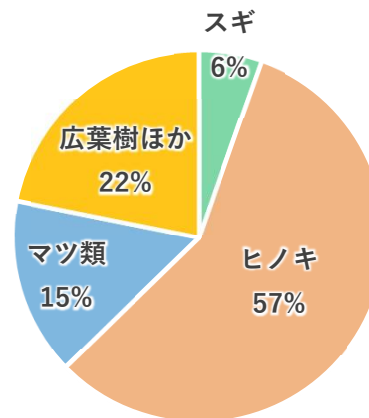


(国有林)

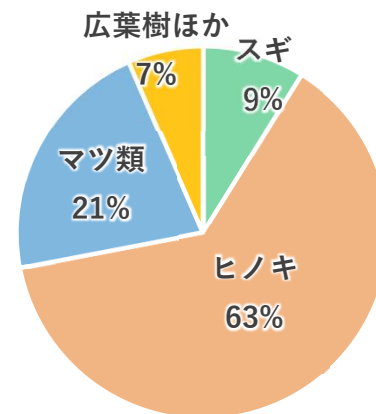


(民有林)

香川県 人工林樹種別割合

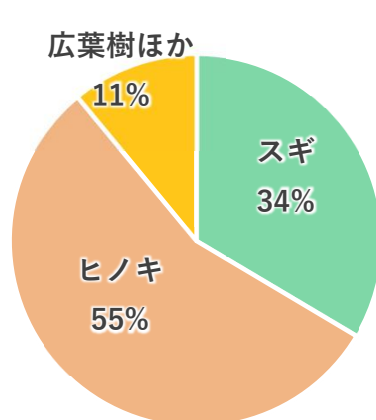


(国有林)

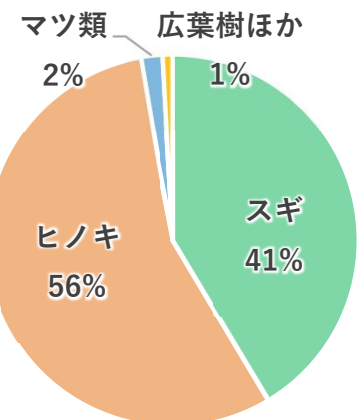


(民有林)

高知県 人工林樹種別割合

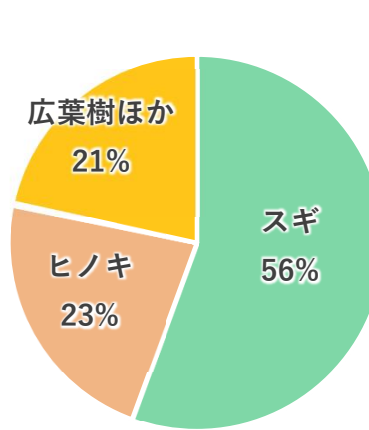


(国有林)

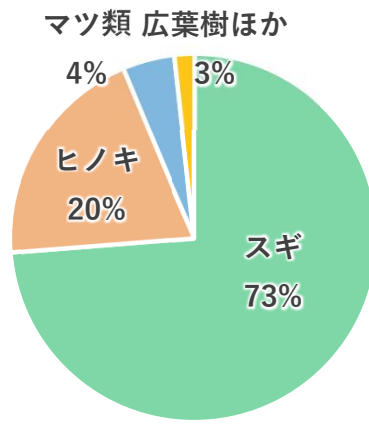


(民有林)

徳島県 人工林樹種別割合



(国有林)

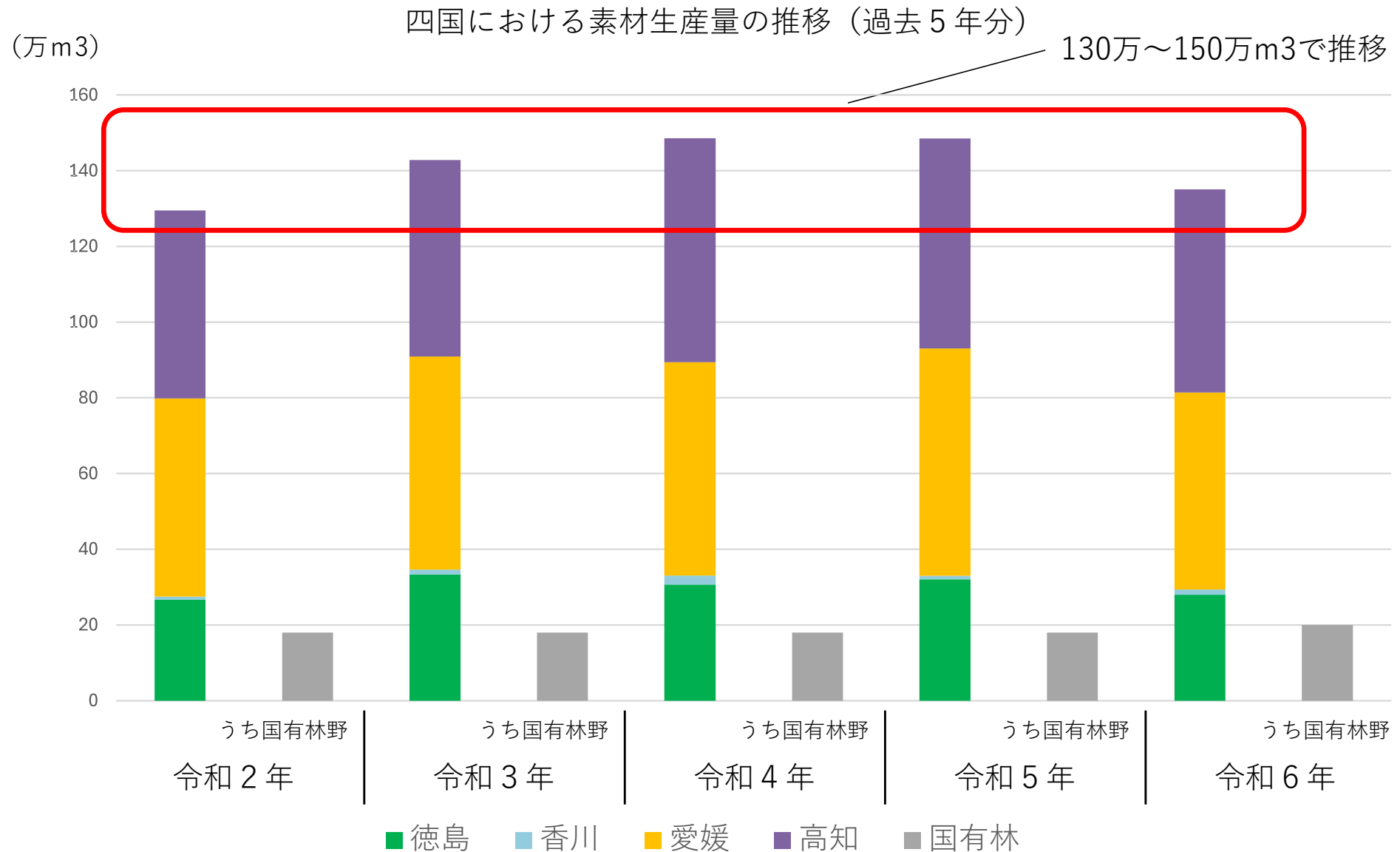


(民有林)

注：国有林には官行造林地を含む。

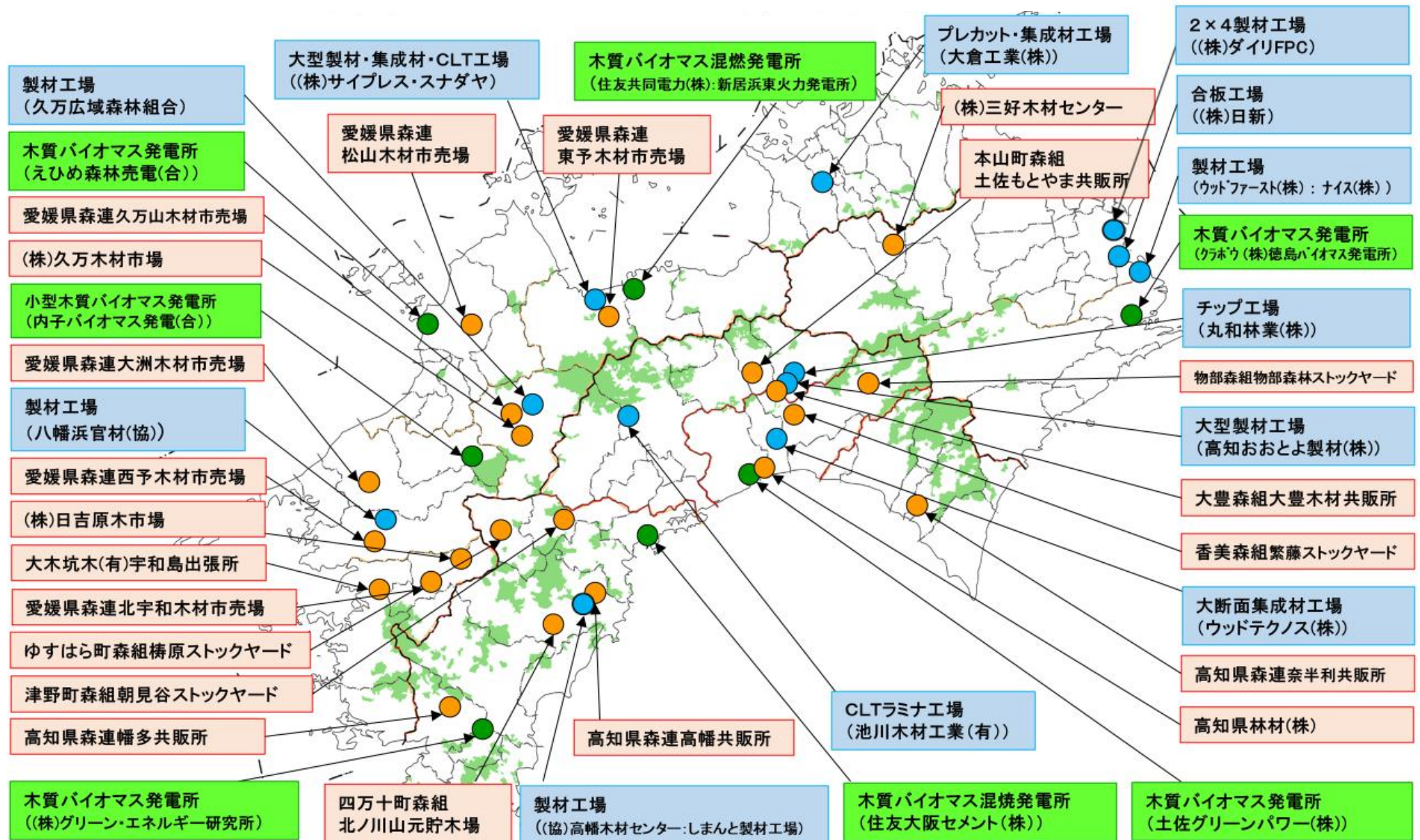
資料：林野庁 統計情報「森林資源の現況（令和4年3月31日現在）」

1.3) 素材生産量の推移



資料：農林水産省「木材需給報告書」（R2～R5年）、
農林水産省「木材統計」（R6年）、
四国森林管理局「四国森林管理局事業統計書」（R2～R6年）

1.4) 大型製材工場、木質バイオマス発電所等の位置



大型製材工場等



木質バイオマス発電所



木材市場



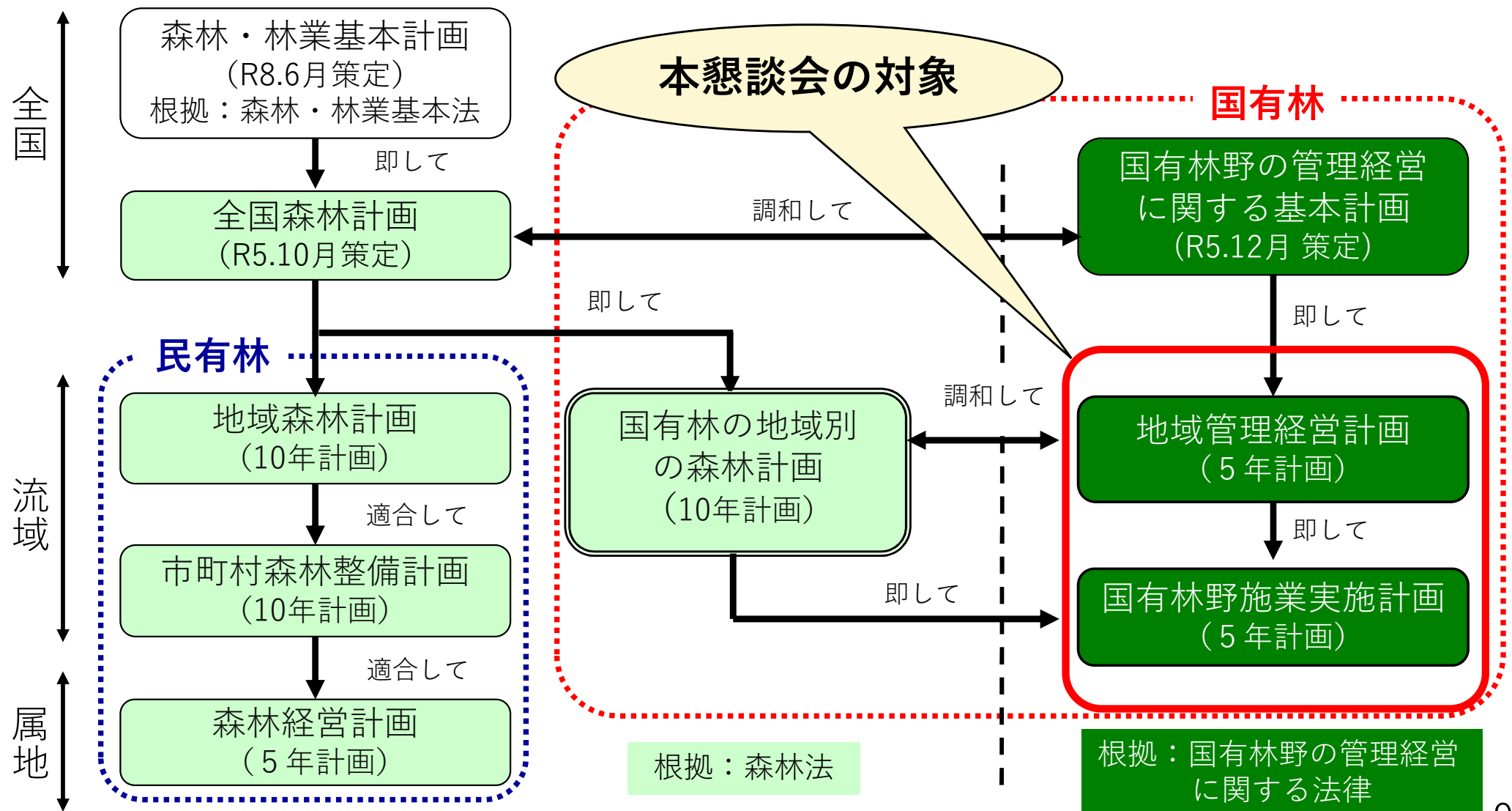
1	四国の森林・林業	1) 四国の森林の概要	3
		2) 人工林の齢級別・樹種別面積	4
		3) 素材生産量の推移	6
		4) 大型製材工場、木質バイオマス発電所等の位置	7
2	森林計画制度	1) 我が国の森林計画制度	9
		2) 四国の森林計画区	10
		3) 森林計画策定のプロセス	11
3	現行の国有林野の 森林計画の概要	1) 安芸森林計画区の特徴	13
		2) 機能類型区分	15
		3) 主要事業の実施状況	18
		4) 特に効率的な施業を推進する森林	19
		5) 治山対策の強化	22
		6) 木材の安定供給への取組	23
		7) 森林・林業技術者等の育成支援	24
		8) レクリエーションの森	25
		9) 保護林	26
		10) 緑の回廊	27
		11) 民有林との連携	28
		12) 国有林の維持及び保全	29
		13) 生物多様性保全に配慮した森林施業	30

2.1) 我が国の森林計画制度



○森林の有する多面的機能（国土の保全・水源の涵養・生物多様性の保全・地球温暖化の防止・木材の生産等）が持続的に発揮されるよう、森林を計画的に整備・保全する必要がある。

○計画的な森林の整備・保全により林業の担い手を確保し、林業を積極的かつ健全に発展させる。



- 凡例

国有林野

計画策定

策定年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
徳島県	吉野川		那賀・海部川
香川県			
愛媛県	南予	肱川	中予山岳

策定年度	令和 8 年度	令和 9 年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
徳島県	吉野川		那賀・海部川		
香川県					香川
愛媛県	南予	肱川	中予山岳	東予	今治松山
高知県	四万十川	安芸	嶺北仁淀	高知	

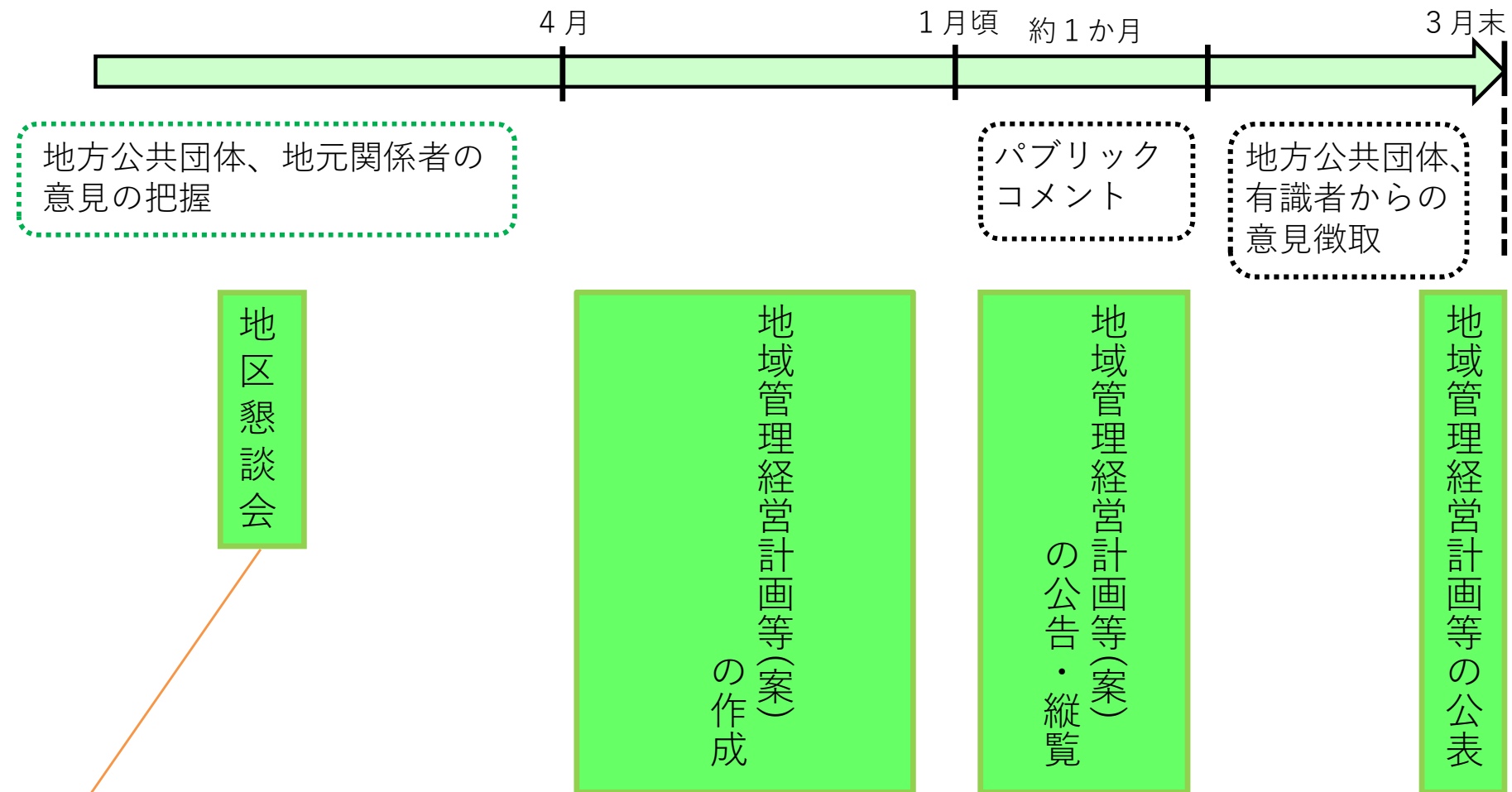
2.3) 森林計画策定のプロセス



(安芸森林計画区)

R 8 年度

R 9 年度(策定年度)



本日の【地区懇談会】

地域管理経営計画等の計画策定に着手する段階で、地域の多様な関係者からのご意見をいただく場として設定



1	四国の森林・林業	1) 四国の森林の概要	3
		2) 人工林の齢級別・樹種別面積	4
		3) 素材生産量の推移	6
		4) 大型製材工場、木質バイオマス発電所等の位置	7
2	森林計画制度	1) 我が国の森林計画制度	9
		2) 四国の森林計画区	10
		3) 森林計画策定のプロセス	11
3	現行の国有林野の 森林計画の概要	1) 安芸森林計画区の特徴	13
		2) 機能類型区分	15
		3) 主要事業の実施状況	18
		4) 特に効率的な施業を推進する森林	19
		5) 治山対策の強化	22
		6) 木材の安定供給への取組	23
		7) 森林・林業技術者等の育成支援	24
		8) レクリエーションの森	25
		9) 保護林	26
		10) 緑の回廊	27
		11) 民有林との連携	28
		12) 国有林の維持及び保全	29
		13) 生物多様性保全に配慮した森林施業	30

3.1) 安芸森林計画区の特徴



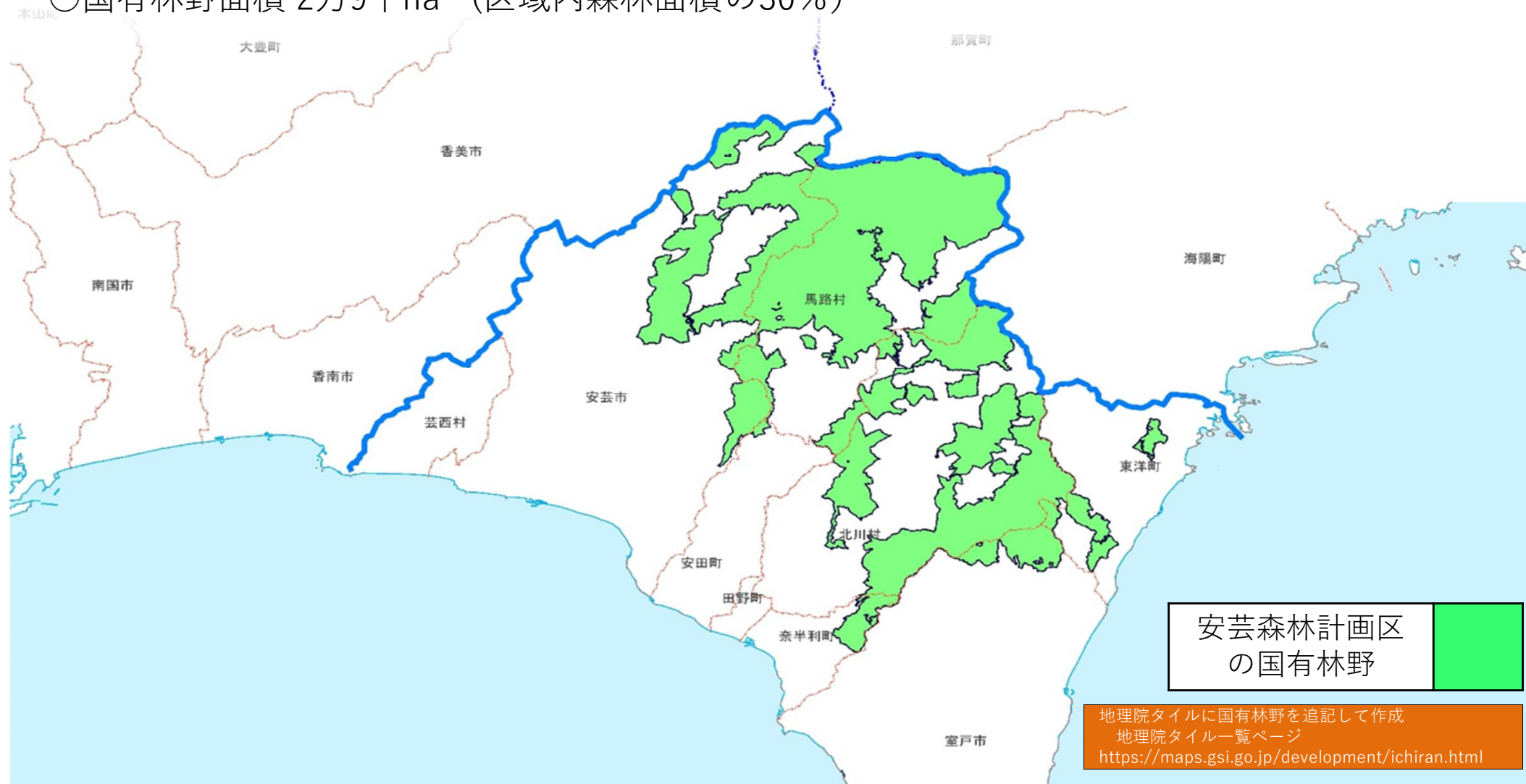
安芸計画区の範囲：高知県東部

安芸市、室戸市、東洋町、奈半利町、田野町、安田町、北川村、馬路村、芸西村

○区域面積 11万3千ha

○森林面積 10万ha（区域面積の89%）

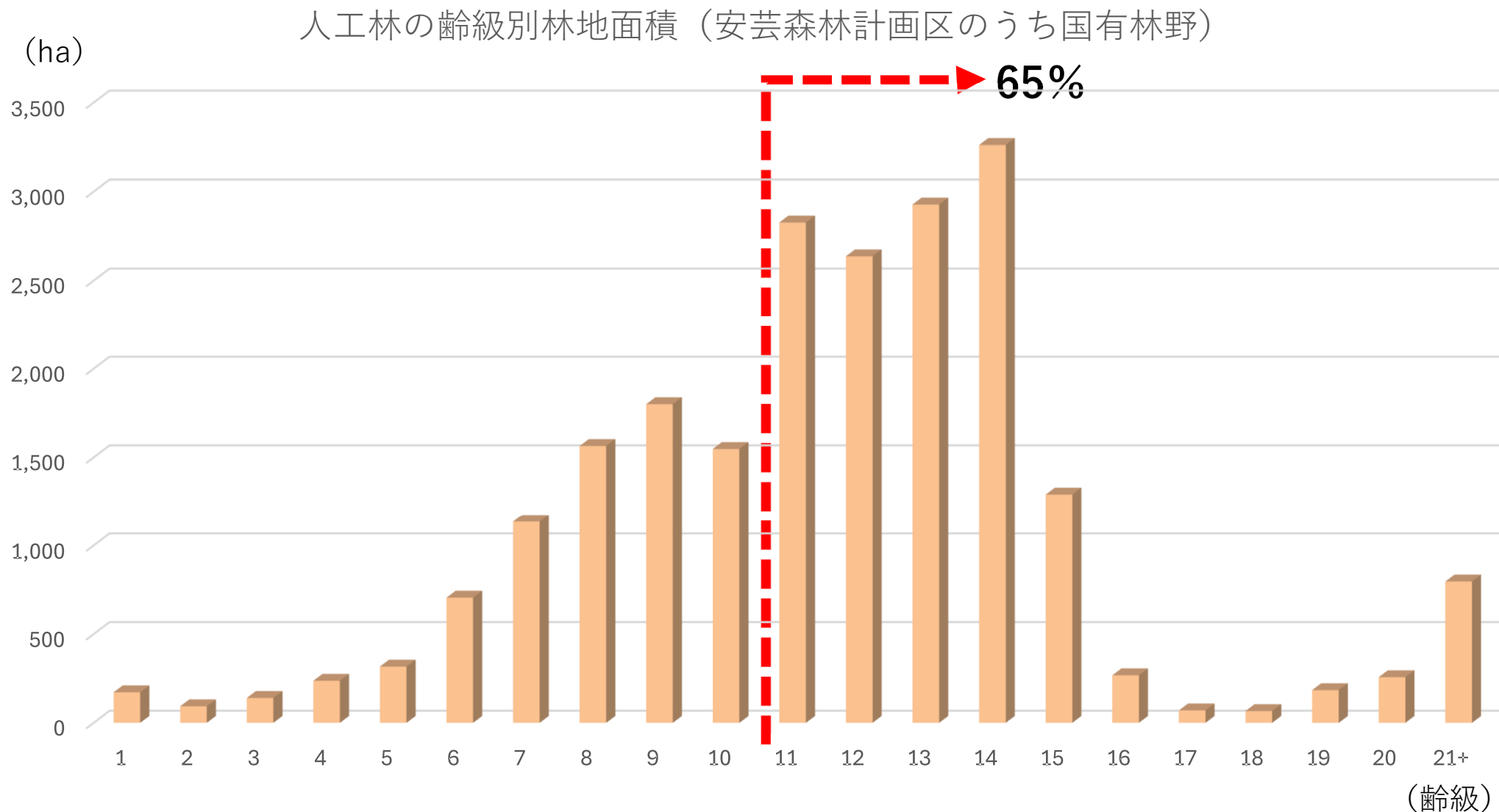
○国有林野面積 2万9千ha（区域内森林面積の30%）



3.1) 安芸森林計画区の特徴



○安芸森林計画区の国有林野で、利用可能な段階を迎えている11齢級以上（51年生以上）の人工林は65%。

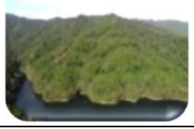


注1：国有林野施業実施計画R7.4.1樹立時データによる。

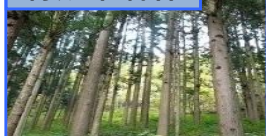
2：表中の林地面積には官行造林を含まない。

3.2) 機能類型区分



機能類型区分	機能類型区分の考え方	施業方法
山地災害防止タイプ 	土砂流出・崩壊防備エリアと気象害防備エリアの2つに区分して取り扱う。 ○土砂流出・崩壊防備エリア 土砂の流出、崩壊等山地災害による人命・施設の被害の防備を目的とする森林 ○気象害防備エリア 風害、飛砂、潮害、濃霧等の気象害による居住・産業活動に係る環境の悪化の防備を目的とする森林	育成複層林施業 天然生林施業
自然維持タイプ 	原生的な森林生態系からなる自然環境の維持、動植物の保護、遺伝資源の保存等、自然環境の保全に係る機能を重点的に発揮させることを目的とする森林	育成複層林施業 天然生林施業
森林空間利用タイプ 	スポーツ又はレクリエーション、教育、文化、休養等の活動の場や優れた景観の提供及び都市又はその周辺の風致の維持に係る機能を重点的に発揮させることを目的とする森林	育成単層林施業 育成複層林施業 天然生林施業
快適環境形成タイプ	汚染物質の吸着能力が高く、かつ、抵抗性があり、葉量の多い樹種によって構成される森林	※四国の国有林野では該当なし
水源涵養タイプ 	国民生活に欠かせない良質で豊かな水の供給に係る機能を重点的に発揮させることを目的とする森林	育成単層林施業 育成複層林施業 天然生林施業

育成単層林



樹齢・樹高が単一の森林として人為により成立・維持

育成複層林



樹齢・樹高が複数の森林として人為により成立・維持

天然生林



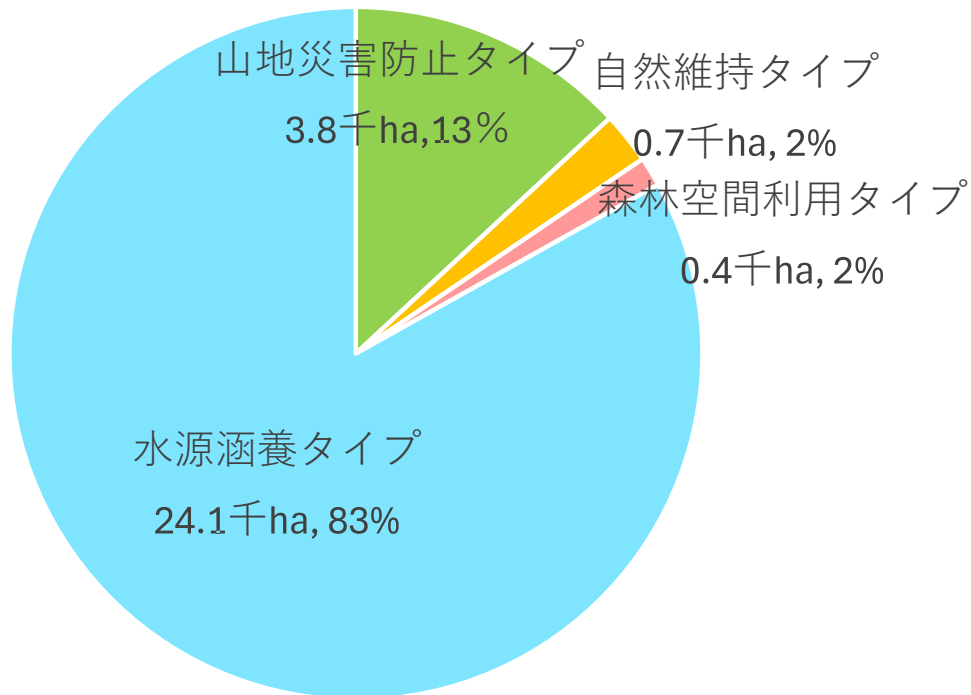
自然散布の種子の発芽・生育等、天然力により成立・維持

3.2) 機能類型区分

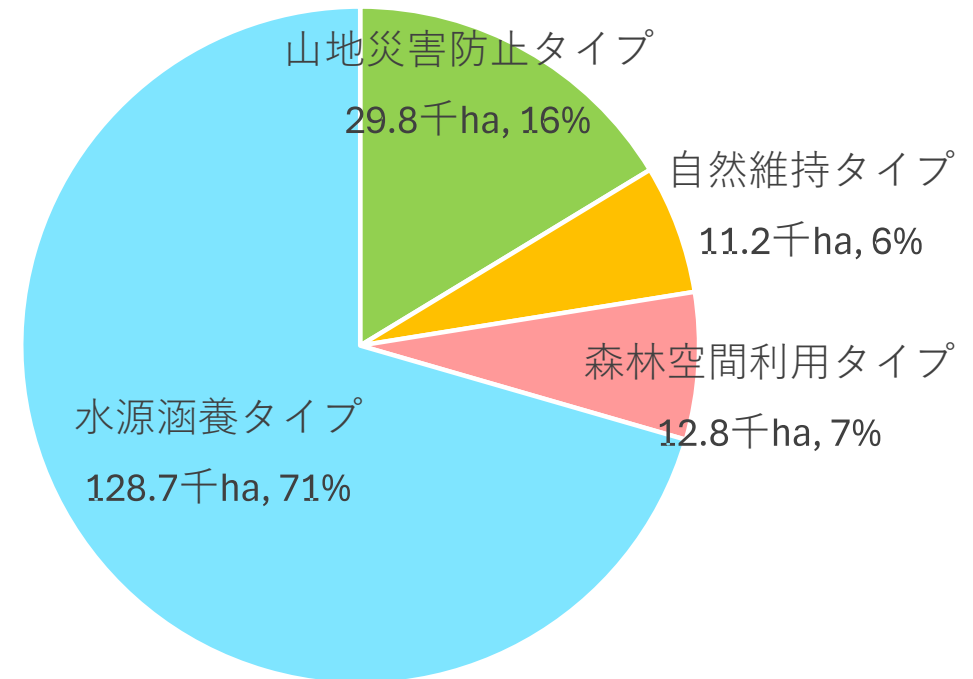


○安芸森林計画区では、四国の平均と比較して、水源涵養タイプの割合が大きく、山地災害防止タイプ、自然維持タイプ、森林空間利用タイプの割合が小さい。

安芸森林計画区内の国有林野の機能類型区分



四国の国有林野の機能類型区分

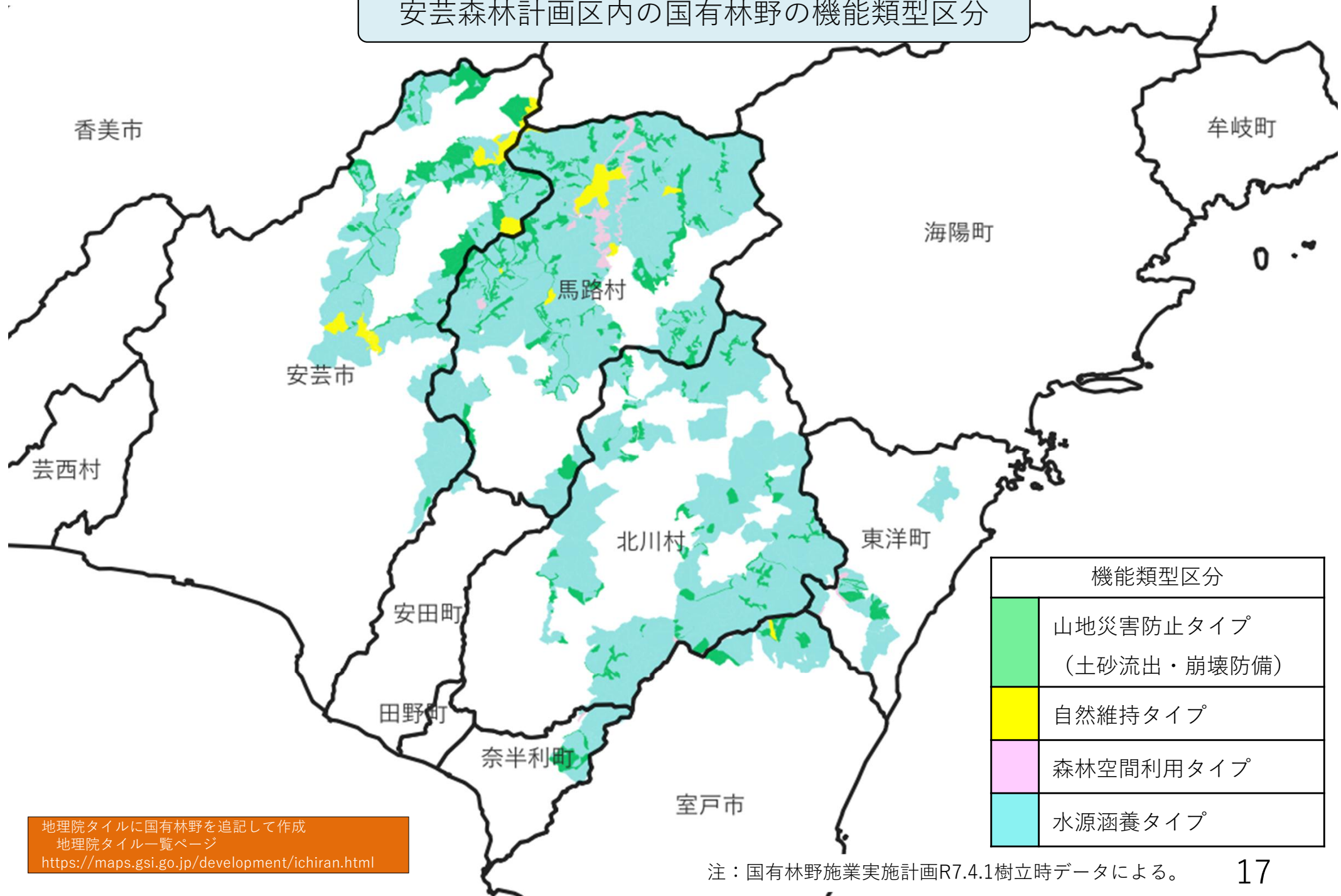


注1：国有林野施業実施計画R7.4.1樹立時データによる。
注2：四捨五入のため割合は100%にならないことがある。

3.2) 機能類型区分



安芸森林計画区内の国有林野の機能類型区分



3.3) 主要事業の実施状況



主要事業量

【安芸森林計画区の国有林野】

		計画量 (令和5年度 ～ 令和9年度)	実績量 (令和5年度 ～ 令和8年6月まで)	進捗率
伐採	主伐 (m3)	158,367	37,190	23%
	間伐 (m3)	626,652	201,445	32%
	合計	785,019	238,635	30%
造林・保育	人工造林 (ha)	288	131	45%
	下刈 (ha)	817	190	23%
	除伐 (ha)	143	79	55%
	つる切 (ha)	9	0	0%
林道	開設 (m)	1,947	508	26%
	改良 (m)	57,500	2,897	5%
治山	保全施設 溪間工 (箇所)	35	16	45%
	保全施設 山腹工 (箇所)	25	2	8%
	保安林の整備 (ha)	674.62	149.92	22%



注：計画量は、第六次国有林野施業実施計画書（安芸森林計画区）による。

3.4) 特に効率的な施業を推進する森林



特に効率的な施業を推進する森林（効率施業森林）の設定の背景等

■ 現状と対応方針

- 国有林野事業では、その組織・技術力・資源を活用して民有林に係る施策を支え、森林・林業施策全体の推進に貢献していくこととしている。
- このような中、森林・林業基本計画では、「新しい林業」の実現に向けた取組の展開、担い手の育成、国産材の安定供給体制の構築等が課題。

公益重視の管理経営を推進しつつ、上記の「新しい林業」の実現に向けた効率的な施業の実施や民有林関係者への普及、担い手の育成等の取組を効果的に進めるため、林地生産力や地形等の自然条件や路網整備状況等の社会的条件が良い人工林を特定することとする。

■ 取組内容

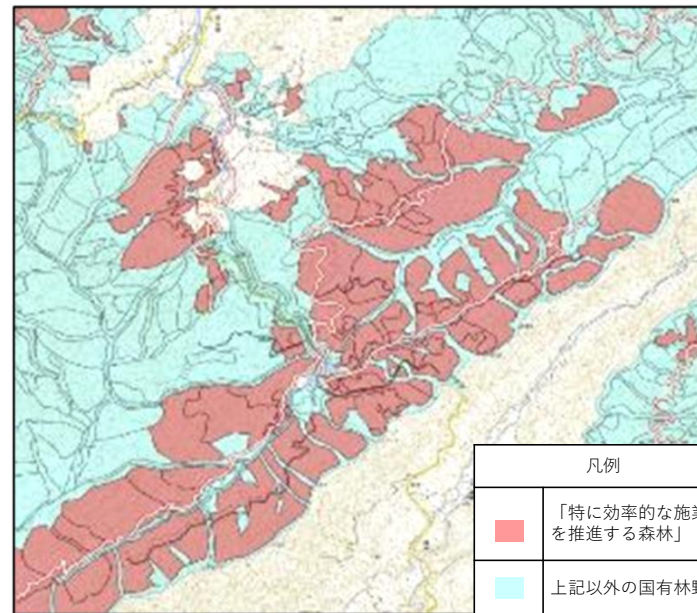
「特に効率的な施業を推進する森林」の設定

- 水源涵養タイプの人工林のうち、**林道等からの距離が近く、地位が比較的高く、傾斜が比較的緩い森林を「特に効率的な施業を推進する森林」として設定。**
- 地域の民有林関係者等に「特に効率的な施業を推進する森林」の対象森林が明らかとなるよう、地域管理経営計画等に当該森林を位置付け、公表。

「特に効率的な施業を推進する森林」での取組

- 自然条件等の良い人工林であることから、水源涵養機能の発揮に支障を生じさせない範囲で、以下の取組を推進。
 - ・ **造林の省力化・低コスト化等の「新しい林業」の実現に向けた効率的な施業の実施**や、現地検討会を通じた民有林関係者等への普及
 - ・ **事業発注**を通じた林業事業体の育成
 - ・ **樹木採取権**による林業経営体の経営基盤の強化や分収造林を活用した経営規模拡大の支援等

■ 「特に効率的な施業を推進する森林」の設定と運用のイメージ



「新しい林業」の実現に向けた効率的な施業の実施と民有林への普及

事業発注を通じた林業事業体の育成

木材の安定供給に資する林道の機能強化

このほか、分収造林新規契約やレーザ計測・解析等を優先的に実施

これらの取組を通じて、地域の国産材の安定供給体制の構築や将来的な森林吸収量の確保・強化にも貢献

3.4) 特に効率的な施業を推進する森林



特に効率的な施業を推進する森林（効率施業森林）の設定の考え方

多様な森林づくりに向けた人工林の誘導イメージ

～地位・傾斜・車道からの距離で区分した場合～

地形や地位等の自然条件や路網整備等の社会的条件を踏まえて、人工林における森林施業のあり方（施業群等）を適宜見直していく必要。特に、今後施業が見込まれる車道からの距離が近いゾーンから優先的に見直し。

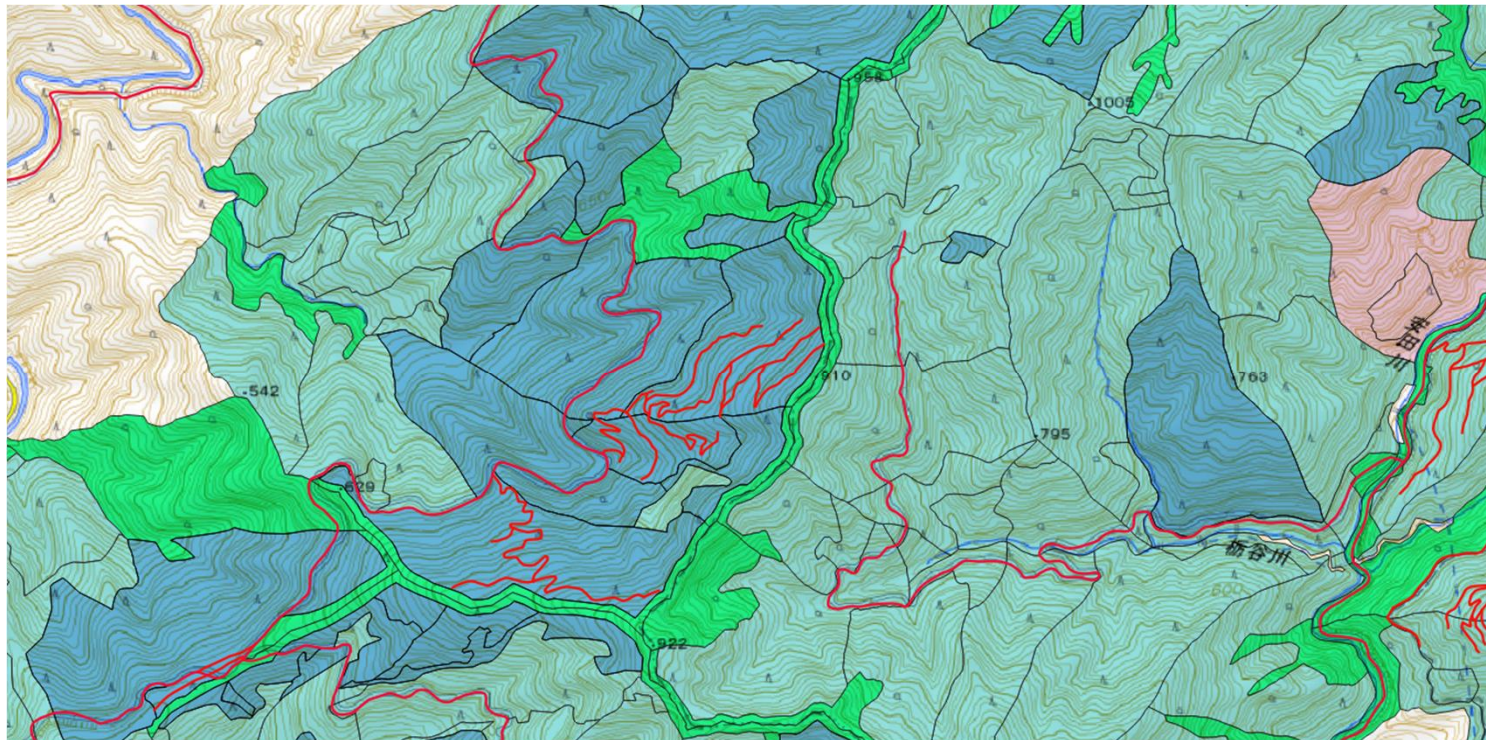
区 分			【地形・土地の生産性の観点】			
			高 ←		→ 低	
			傾斜35度未満（中以下）		傾斜35度以上	
			地位：高（8以上）	地位：中（5～7）	うち傾斜35度未満 かつ 地位：高～中	又は 地位：低（4以下）
【経済性の観点】	高 ↑	車道からの距離 300m未満	I A 積極的な 主伐・再造林 （育成単層林を維持）		II 状況に応じて判断	III B 複層林化等 （育成複層林へ誘導）
	低 ↓	車道からの距離 300m以上	IV C 長伐期化 （育成単層林を維持）		V 状況に応じて判断	VI D 自然遷移 （育成複層林へ誘導）

R5年度に局内の全森林計画区の当該区域の森林を「特に効率的な施業を推進する森林」に設定

3.4) 特に効率的な施業を推進する森林



特に効率的な施業を推進する森林（効率施業森林）の設定の例



地理院タイルに国有林野を追記して作成
 地理院タイル一覧ページ
<https://maps.gsi.go.jp/development/ichiran.html>

森林計画区	水涵タイプ 人工林面積 a (ha)	効率 施業森林 面積 b (ha)	割合 b/a (%)
安芸	20,458	5,036	25

注1：小数点以下は四捨五入。

2：国有林野施業実施計画R8.4.1樹立時データによる。

国有林野の凡例	
	水源涵養タイプ
	水源涵養タイプのうち効率的施業森林
	森林空間利用タイプ
	山地災害防止（土砂）タイプ
	林道、作業道

3.5) 治山対策の強化



国土の保全、水源のかん養など公益的機能の高度発揮に資するため、各種治山事業を実施

- 集中豪雨等の増加で多発化する自然災害から安全・安心な暮らしを守るため、治山事業を実施します。
- 北川村民有林野内で発生した大規模な山腹崩壊等について、H24年より国直轄で奈半利川地区民有林直轄治山事業を行っており、地域住民の方が安全で安心して暮らせる国土づくりに取り組みます。

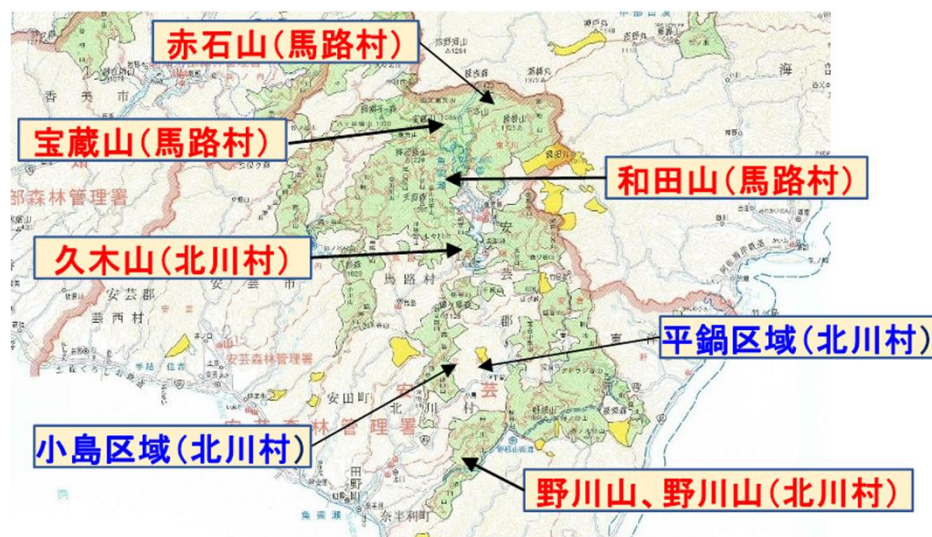
■ 令和8年度治山事業の実施予定

国有林直轄治山

予定箇所	箇所数	事業費
野川山、野川山、久木山 (北川村) 赤石山、宝蔵山、和田山 (馬路村)	6	6.3億円

民有林直轄治山(奈半利川地区)

予定区域	箇所数	事業費
平鍋区域、小島区域 (北川村)	4	6.7億円



R7年度完成【明善山(2087) 災害関連緊急工事】



R7年度完成【奈半利川地区大谷区域】

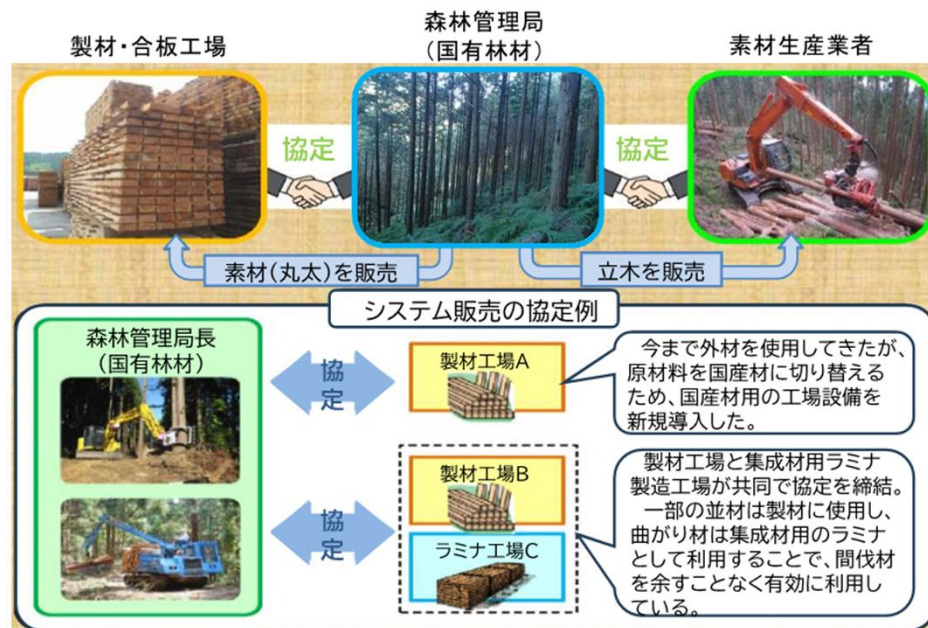
3.6) 木材の安定供給への取組



地域の需要を踏まえ生物多様性に配慮しながら、国有林材の安定的な供給

- 国有林材の安定供給** 素材販売や立木販売を行い、木材の持続的・計画的な供給を通じて地域の林業・木材産業の活性化に努めます。
- 安定供給システム** 国産材の安定的な供給の実現に向け、国有林材（素材）の安定供給システム販売等を推進していきます。
- 複数年契約事業** 安定した事業量を確保することで、林業事業体の経営や雇用の安定及び効率的な実施に資するため、発注を推進していきます。

■ 国有林材の安定供給システム販売の仕組



※システム販売の対象は、素材(丸太)と立木。協定の相手方は、製材工場、木材加工業者、原木市場、素材生産業者等。
 ※立木のシステム販売は、複数年(3年以内)の協定、搬出期間は売買契約から原則3年以内。

■ 安芸森林管理署の国有林材の供給量

(単位：万m³)

	R8 (予定)
素材販売(丸太材積)	4.6
(うちシステム販売)	(2.1)
立木販売(立木材積) (分育含まない)	3.4

■ 安芸森林管理署の複数年契約地区

事業年度	所在地	国有林名	面積 (ha)	予定数量 (m ³)
R6 ~ R8	北川村	大谷受領山	83	10,000
R7 ~ R9	北川村	躑躅尾山	99	13,000
R7 ~ R9	北川村	グドウジ谷山	69	9,000
R7 ~ R8	室戸市	大道南山	49	6,000
R8 ~ R9	馬路村	久木山 外	33	5,000

3.7) 森林・林業技術者等の育成支援



林業事業体の育成、市町村林務担当者のスキルアップに向け、各種現地検討会を開催

- 資源の有効活用と収益性の高い持続的な林業経営に向けた取組として、令和4年度から継続して生産事業体と木材市場による素材生産における採材技術の向上を目的とした現地検討会を開催しています。
- 将来の森林・林業を担う人材育成を目的に、林業関係の高校、大学等を対象に現地体験学習等を実施、今後も引き続き体験学習やインターシップを予定しています。
- 上記のほか、森林・林業に関する各種現地検討会や研修会等を開催し、技術・知識の普及及び関係者間の連携強化を推進。

■ 素材生産事業の技術向上に向けた現地検討会



検討会の様子



有利な採材方法の検討

■ インターンシップの受入れ



現地説明
(民有林治山現場)



林業関係高校生の現地体験
(千本山)

3.8) レクリエーションの森



○優れた自然景観を有し、森林浴や自然観察、野外スポーツ等に適した森林を「レクリエーションの森」に選定し、広く国民に森林レクリエーションの場として提供。

■ 千本山風景林

その優れた自然景観から、全国で93か所の「日本の美しい森お勧め国有林」や「中芸地域日本遺産～森林鉄道から日本一のゆずロードへ～」の構成要素に指定されています。

また、昭和9年に牧野富太郎博士が訪れ、当時の魚梁瀬宮林署の事業所に宿泊し、植物の採取指導を行ったことが記録されています。

今から約90年前に牧野富太郎博士の歩いた道を遊歩道として活用し、地域と協力して観光資源としての魅力の向上を図ります。



橋の大杉

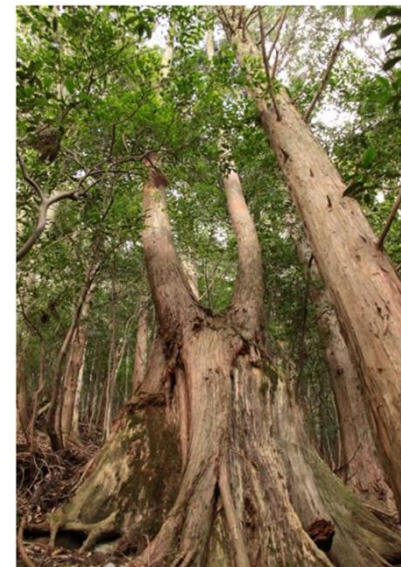


魚梁瀬スギ

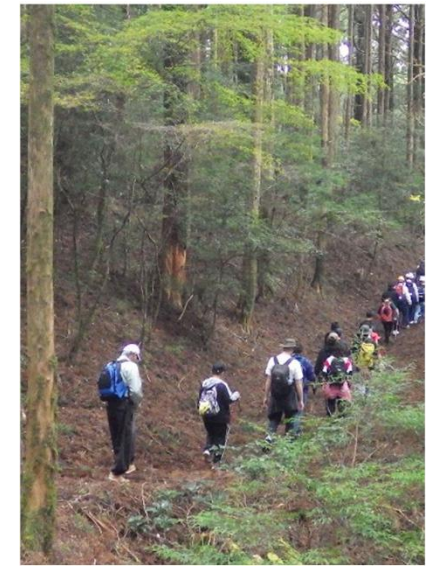
■ 野根山街道

土佐藩の参勤交代路として利用した奈半利町から東洋町にかけての街道で道中に関所跡等数々の名所、史跡、伝説があり、ハイキングコースとしても利用されており、地元の小学校による「自然を親しむ体験」と「地域の歴史学習」も兼ねた散策を行うなど、学校行事としても活用されています。

また、街道沿いの段ノ谷山天然スギ群は、室戸ユネスコ世界ジオパークの一部に指定されており、ユニークな天然スギの姿を見ることができます。



双子二代杉



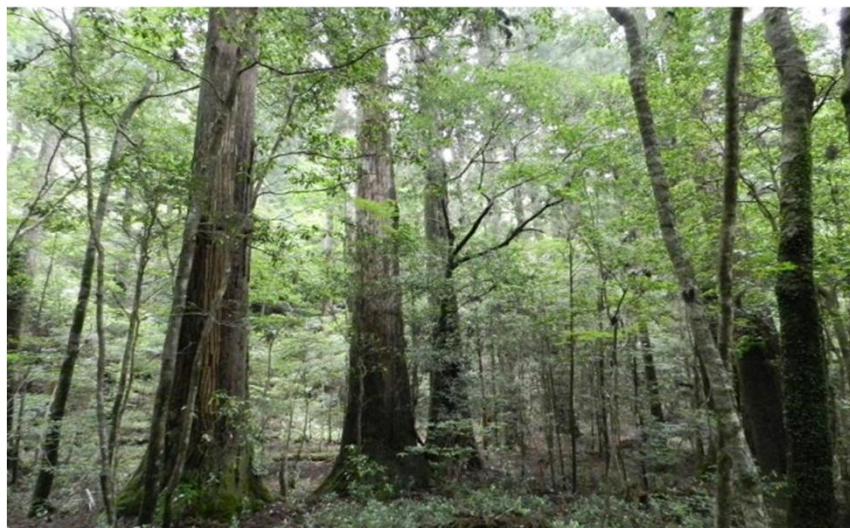
学校行事として散策に活用

3.9) 保護林



- 国有林では、原始的な森林、希少な遺伝資源を有する森林及び地域を代表する植生群落を有する森林を「保護林」に指定し、その目的に応じた保護・管理を実施
- 安芸森林管理署の管理する国有林には、7か所、333haの保護林があり、定期的なモニタリング調査を実施し適切な保護・管理を推進

名 称	特 徴 等
希少個体群保護林	
横荒山	モミ・ツガ天然林の遺伝資源の保存(横荒山国有林(安芸市))
雁巻山 千本山	高知県の樹である天然ヤナセスギの遺伝資源の保存(千本山国有林、雁巻山国有林(馬路村))
西の川山 魚梁瀬 安田川山	紀伊半島と安芸地方にのみ自生する希少な樹種であるトガサワラの遺伝資源の保存(西の川山国有林(安芸市)、千本山国有林、安田川山国有林(馬路村))
千本山	人工ヤナセスギ林の造成技術の発展・継承(千本山国有林(馬路村))



千本山国有林 魚梁瀬スギ



令和7年度保護林モニタリング調査で確認した希少種

3.10) 緑の回廊



- 国有林では、保護林を中心としたネットワークを形成する「緑の回廊」を設定
野生生物の移動経路を確保し、より広範で効果的な森林生態系の保護を図る
- 安芸森林管理署管内では、剣山を中心として「四国山地緑の回廊・剣山地区」を設定、東西及び南方面へのびる国有林野において保護林を連結、定期的なモニタリング調査を実施し、野生生物の移動実態や森林施業の効果等を把握
- 緑の回廊の趣旨に賛同する民有林所有者等と連携協定を締結、四国森林管理局の「緑の回廊」の設定方針に準じて管理を行う（私有林と連携した緑の回廊は全国初）



3.11) 民有林との連携



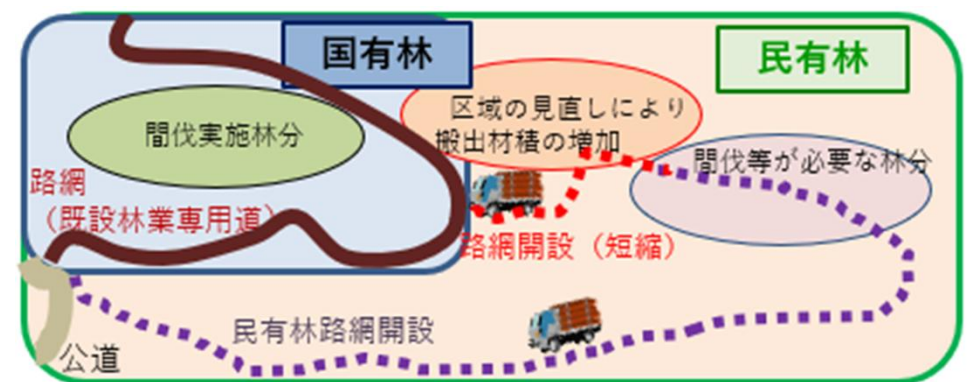
民有林との連携施業及び協調出荷の推進

○地域における施業の集約化を推進するため、森林共同施業団地を設定し、路網や土場の共同利用等に取り組む。

○安芸森林管理署では、3地区（約2,770ha）において民有林との連携協定を締結。

名 称	対象地(林小班)		面積 (ha)	連携した施業の 内容
北川村大谷 地区施業モ デル団地森 林施業実施 協定	民	カミキタダニ山外 6	171.61	間伐、 作業道開設 等
	国	平瀬山国有林 2002 林班 大谷鹿伏山国有林 2003 林班 大谷受領山国有林 2004 林班	252.97	
北川村島・久 江の上・平鍋 地区施業モ デル団地森 林施業実施 協定	民	ヒノジャマ外 6	363.08	間伐、 作業道開設 等
	国	西谷山国有林 1008、1009、 1012 林班 揚ヶ谷続山国有林 1010 林班 大段徳ヶ谷国有林 2075、2076 林班 北川村官行造林 3、4 林班	498.95	
奈半利町須 川・室戸市羽 根地区森林 整備推進協 定	民	郷分生産森林組合林 (14 林班外 2) 藤村製絲株式会社社有林 国立研究開発法人森林研究・整備機 構森林整備センター高知水源林整備 事務所分収造林契約地 一般社団法人高知県森林整備公社井 ノ谷西畝山団地	880.79	間伐、 作業道開設 等
	国	須川山国有林 1014～1020 林班 奈半利町官行造林 2、3 林班	601.74	

■ 森林施業集約化の促進及び運搬コストの削減（イメージ図）



■ 北川村島・久江の上・平鍋地区施業モデル団地



民有林・国有林境界



国有林・民有林路網連結

3.12) 国有林野の維持及び保全



地域と連携したシカ被害対策の推進

- 平成25年12月に馬路村と、平成30年8月に北川村と、令和8年3月安芸市と協定を締結し、①囲いわな等の無償貸与、②国有林の入林手続の簡素化、③捕獲技術支援により、民有林と国有林が一体となってシカ被害対策を推進しています。
- 北川村との協定については、笠松式くくりワナの無償貸与に加え、R2年度より箱ワナ・囲いワナの無償貸与も実施、R6年度からは馬路村にも笠松式くくりワナの無償貸与を開始しました。
- これらの取組により、安芸森林管理署管内のシカ捕獲頭数は、平成25年度10頭から令和2年度には420頭をピークに、令和7年度は86頭と落ち着きつつあります。

■ ニホンジカの捕獲頭数の推移（安芸森林管理署管内）

年度	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R元	R2	R3	R4	R5	R6	R7
捕獲頭数	10頭	41頭	64頭	96頭	127頭	151頭	268頭	420頭	250頭	154頭	110頭	187頭	86頭

※ H28年度に箱わなに加え、くくりわなを導入
※ R7年シカ捕獲マニュアル【設置編】を作成

■ 囲いワナ（こじゃんと1号）



■ （笠松式）くくりワナ



3.13) 生物多様性保全に配慮した森林施業

- 安芸森林管理署では、森林施業区域内に希少種がまとまって自生してた箇所を、ピンクテープで区域表示するなど、生息地の保全に配慮した森林施業を実施。
- また、生物多様性に配慮した森林施業として、間伐や主伐（皆伐、複層伐）を実施する際、伐倒作業や安全上支障のない一部の高木性広葉樹等を保残・保持する取組も行うこととしている。



間伐地におけるガンゼキラン※(ピンクテープ内)の生育等に配慮した施業を実施（安芸署）
※高知県レッドリスト絶滅危惧種 IB (EN)



高木性広葉樹を保残・保持するイメージ



ご清聴ありがとうございました！



森林の環(もりのわ)応援団

[illegible]